

葉上にいる種でとくに神戸市内では多い。

産地：川西市笹部、大和、横地〔仲田，1978，1982〕。Hiogo〔Marseul，1876〕。神戸市烏原（lex.，13—VI—1971，lex.，7—VII—1977，lex.，11—VI—1980，lex.，14—VII—1980，lex.，21—VII—1980，lex.，9—VIII—1980，lex.，25—VI—1981，lex.，29—VI—1981，lex.，8—VI—1981，2exs.，9—VI—1981，2exs.，10—VI—1982，lex.，21—VI—1982，2exs.，24—VI—1982，3exs.，26—VI—1982，lex.，28—VI—1982，lex.，2—VII—1982，lex.，4—VII—1982，lex.，5—VII—1982，lex.，9—VII—1982，lex.，13—VII—1982，lex.，19—VI—1983，lex.，22—VI—1983，lex.，23—VI—1983，lex.，28—VI—1983，lex.，11—VII—1983，lex.，6—VII—1984，lex.，14—VIII—1984），逢山峡（lex.，2—VII—1982，2exs.，1—VII—1986），伊川谷（2exs.，6—VI—1988）。明石市明石公園（lex.，21—VI—1975）。三木市美囊川々原（lex.，25—VI—1979），細川中（lex.，1—VIII—1985），口吉川町（lex.，14—VII—1986）。加東郡社町三草（lex.，6—VII—1989）。

## 尼崎西南部の昆虫（その4）

新 家 勝

### VI Hymenoptera 膜翅目

#### 1. Siricidae キバチ科

##### (1) *Tremex fuscicornis* Fabricius ヒラアシキバチ

1944.10.8

武庫川堤防上のエノキの大木に産卵していたもの。地上約1m以下の樹幹に多数の♀が産卵管をさしこみ、人が近づいても逃げられない状態であった。そして、あるものは既に死んでおり、あるものは飛び立とうとしてもがいていた。後日、見ると多数の産卵孔があいていた。

#### 2. Tenthredinidae ハバチ科

##### (1) *Dolerus hordei* Rohwer ムギハバチ

1946.4.10

##### (2) *Pachyprotasis serii* Okutani セリシマハバチ

1947.4.19

- (3) *Apethymus kuri* Takeuchi クリハバチ  
1946.6.26
- (4) *Arge nipponensis* Rohwer ニホンチュウレンジハバチ  
1947.6.18

## 2. Ichneumonidae ヒメバチ科

- (1) *Hadrojoppa cognatoria* Smith クロヒメバチ  
1946.10.9
- (2) *Ichneumon tibialis* Uchida サキマダラヒメバチ  
1947.5.13
- (3) *Trogus mactator* Tosquinet アゲハヒメバチ  
1949.10.16
- (4) *Callajoppa pepsoides* Smith クロハラヒメバチ  
1942.7.13
- (5) *Ichneumon generosus* Smith マダラヒメバチ  
1946.6.30
- (6) *Coccygomimus disparis* Viereck ヒメキアシヒラタヒメバチ  
1946.11.16
- (7) *Coccygomimus pluto* Ashmead クロヒラタヒメバチ  
1949.11.6
- (8) *Dolicomitus* の一種  
1946.11.14
- (9) *Itoplectis naranyae* Ashmead アオムシヒラタヒメバチ  
1946.5.6
- (10) *Picardiella tarsalis* Matsumura コクロオナガヒメバチ  
1947.6.3
- (11) *Habronyx heros* Wesmael マツケムシャドリコンボウアメバチ  
1946.12.17

## 3. Formicidae アリ科

- (1) *Camponotus japonicus* Mayr クロオオアリ  
1946.6.6, 1946.6.7
- (2) *Polyrhachis lamellidens* Smith トゲアリ

1946.11.6

4. Scoliidae ツチバチ科

- (1) *Campsomeris grossa* Fabricius オオハラナガツチバチ

1945.10.10

- (2) *Campsomeris shulthessi* Betrem ハラナガツチバチ

1947.6.23

- (3) *Scolia oculata* Matsumura キオビツチバチ

1946.6.26

ツチバチ類は、これ以外にヒメハラナガツチバチ、オオモンツチバチ、コモンツチバチがあり、オオイボタ、セイタカアワダチソウ、オオアレチノギクなどの花によく飛来した。オオハラナガツチバチは少なく、ヒメハラナガツチバチは特に多かった。夏の夕暮れ、武庫川堤防に多数生えているオオアレチノギクに、これまた多数のツチバチたちが眠るようにとまっていた。

5. Mutillidae アリバチ科

- (1) *Timulla insidiator* Smith フタホシアリバチ

1946.8.13

6. Chrysididae セイボウ科

- (1) *Chrysis ignita* Linne ヨツバコセイボウ

1946.7.1, 1949.6.17

- (2) *Chrysis splendidula* Rossi ツمامラサキヨツバコセイボウ

1947.7.18, 1947.7.22

- (3) *Chrysis shanghaiensis* Smith イラガイツツバセイボウ

1947.7.21, 1947.7.22

- (4) *Chrysis fuscipennis* Brulle クロバネヨツバコセイボウ

1946.8.16, 1948.8.29

- (5) *Stilbum cyanurum* Forster オオセイボウ

1946.6.17, 1949.9.24

7. Vespidae スズメバチ科

- (1) *Vespula lewisi* Cameron クロスズメバチ

1947.5.26, 1950.5.8

- (2) *Eumenes decorata* Smith スズバチ

1945.10.2

- (3) *Vespa tropica* Linné ヒメスズメバチ  
1944.6.11
- (4) *Vespa analis* Fabricius コガタスズメバチ  
1943.8.24
- (5) *Antherhynchium flavomarginatum micado* Kirsch オオフトオビドロバチ  
1946.6.16
- (6) *Stemodynerus frauenfeldi* Saussure チビドロバチ  
1947.7.16

スズメバチ科では、セグロアシナガバチ、フタモンアシナガバチは多く、池のウキクサやア  
 オウキクサの上に降りて口に水を含み、物干の柱、電柱、板塀などへ運んでその表面を濡らし  
 て柔らかくし、巣の材料を噛み取っていた。キボシトツクリバチ、トツクリバチ、カバフスジ  
 ドロバチ、フカイドロバチは普通におり、ドロバチ類はオオイボタの花によく飛来した。

#### 8. Pompilidae ベッコウバチ科

- (1) *Cyphonox dorsalis* Lepeletier ベッコウバチ  
1944.6.20
- (2) *Batozonellus anulatus* Fabricius キオビベッコウ  
1944.7.3, 1949.9.11
- (3) *Episyron arrogans* Smith オオシロフベッコウ  
1947.6.20
- (4) *Anoplius samariensis* Pallas オオモンクロベッコウ  
1946.7.13

#### 9. Sphecidae ジガバチ科

- (1) *Ampulex amoena* Stal セナガアナバチ  
1947.6.14, 1947.6.15  
 当時、ほとんどの民家の壁は、土壁の外を焼板で覆ったものであったが、こうした壁板の  
 表面をよく這っており、壁板の隙間や節孔から出入りするのも見られた。狩りの対象となるク  
 ログキブリも普通にいた。
- (2) *Trypoxylon obsonator* Smith ジガバチモドキ  
1947.6.14
- (3) *Sceliphron madraspatanum* Fabricius キゴシジガバチ  
1946.8.9

(4) *Sceliphron inflexum* Sickmann ルリジガバチ

1946.7.10, 1947.6.28

(5) *Sphex argentatus fumosus* Mocsary クロアナバチ

1947.8.25

コクロアナバチとともに普通におり、オオイボタの花によく飛来した。

(6) *Ectemnius carinalis* Pérez マルモンツチスガリ

1946.6.21

オオイボタの花に飛来したもの

10. Halictidae コハナバチ

(1) *Lasioglossum mutillum* (Vachal) シロスジコハナバチモドキ

1947.4.26

11. Megachilidae ハキリバチ科

(1) *Megachilie sculpturalis* Smith オオハキリバチ

1947.7.25

7月以降、サルスベリの花が咲くと、よく吸蜜に来た。

12. Apidae ミツバチ科

(1) *Anthophora acervorum villosura* Smith ケブカハナバチ

1946.4.26

ヒラドの花に来たもの。極めて少なく、この1頭を得たのみ。

(2) *Bombus sapporensis* Cockerell オマルハナバチ

1944.4.28

ヒラドの花に来たもの。非常に少なく、これ以外には2・3頭目撃したのみ。

他のマルハナバチ類は見たことがなかったが、シロスジヒゲナガバチ（ニホンヒゲナガバチ  
だったかも知れない）は多く、小学校校庭の築山などに多数の巣孔をあけて住んでいた。